

第3回ふれあい観察会

谷津田の秋！！～金光院の自然と歴史～

岡田 敬子（千葉市）

日 時：2018年11月10日（土） 9時～12時 天気：晴れ

参加者：11名（内 子ども2名）

コース：御茶屋御殿跡→金光院→金光院谷津田→御茶屋御殿跡（千葉市）

指導員：伊藤道男、遠藤登志子、岡田敬子、金子美幸、芳我めぐみ、萩 将勝
千葉市環境保全課：石渡慶秀、山下範之

千葉市の奥座敷！？参加者が迷わずに到着するか心配しながら到着を待った。御茶屋御殿跡 気になっていたが場所が分からなくて観察会があつて良かったと男性。コバネイナゴとゲンゴロウが見たいという孫と一緒に祖父母さんたちが集まってきた。受付のあとスズメバチが飛んできて、すぐに指導員のHさんが対処法を皆さんに話す。2班に別れて御茶屋御殿跡を観察、空堀、きれいに草刈りされた110メートル四方の正方形の遺構を表門側から見学し、金光院方向に御成街道を進む。街路樹のハナミズキの赤い実、桑の葉の黄葉、カラスウリの実がイルミネーションの様と見ながら金光院の参道へ。

赤い屋根の山門を抜ける「家康」が褒めたという言い伝えの”お手掛けの桜”が庭の中心にあり他にシキミ、朴の木、サルスベリなどの老木を観察、庭の手入れをしていた方から毎年大晦日には皆さんに除夜の鐘を突いてもらっているというお話を聞きました。

金光院谷津田はセイタカアワダチソウ、ススキが揺れて、林縁にノギクの仲間、エビヅル、ノブドウなどつる植物の実、ガマズミの赤い実が晩秋の景色を彩っていました。ジョロウグモしか見ていなかったが、ようやくバッタ、トンボ、チョウが見られた。谷津田の草刈り、水路などの整備をしているビオトープボランティアから整備することでヘイケボタル、ニホンアカガエルなど生きものが増えているという話を聞いた。コバネイナゴとゲンゴロウをカイ君に見てもらえた。リンドウの花、ヤブコウジの実もあった。帰り道、大きなキノコ、ノウサギの足跡、カナヘビが見られた。オナガグモに大人も子どもも盛り上がりました。

少人数でしたが和気あいあいと金光院谷津田周辺の自然の豊かさを実感した観察会でした。



アメンボ見つけた！



カナヘビの赤ちゃん観察